

リハビリテーション科

1. 概要

リハビリテーション科の診療は、リハビリテーションセンターと院内各病棟のベッドサイドで行っている。

外来診療は、市内の病院・医院では行っていない小児の運動・言語発達遅滞及び神経難病が主な対象疾患である。また、当院入院中のリハビリを外来で継続する場合もある。

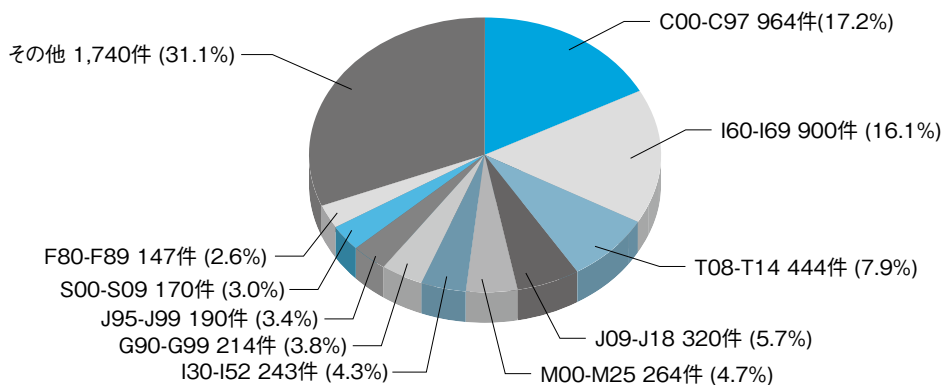
入院診療では、脳卒中、頭部外傷、脳神経・脊髄神経疾患の脳血管リハビリ、骨・関節の外傷や疾患への運動器リハビリ、虚血性心疾患や心不全に対する心大血管リハビリ、肺炎・慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器リハビリ、嚥下障害への嚥下リハビリを行っている。また、がん治療の入院患者に行う、がん患者リハビリにも対応している。当院の診療は急性期リハビリが中心であり、地域連携パスを通じて回復期リハビリ病棟を持つ病院に転院できるシステムが整えられている。

2018年から一部病棟で入院患者の日常生活活動の維持・向上を目的としたリハビリを、またリンパ浮腫への新たな対応を開始した。

(部長 石川 知志)

2. 新規登録疾患

総数：5,596件



ICD-10 中間分類項目
C00-C97:悪性新生物
I60-I69:脳血管疾患
T08-T14:部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷
J09-J18インフルエンザ及び肺炎
M00-M25:関節障害
I30-I52:その他の型の心疾患
I60-I69:脳血管疾患
J95-J99:呼吸器系のその他の疾患
S00-S09:頭部損傷
F80-F89:心理的発達の障害

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	5,681人	年間外来新患者数	18人
年間入院患者数	0人	年間入院新患者数	0人